

豊明市立学校給食センター運営委員会 会議録

「平成25年度第1回」

平成25年5月29日(水)午後3時30分第1回学校給食センター運営委員会は中央調理場会議室に招集された。

1 応召委員は、次のとおりである。

委員：坪田 孝子	委員：三浦 史博	委員：市野 光信
委員：雨森 唯行	委員：堀田 陽一	委員：比嘉 司
委員：森 ともみ	委員：西川 元	委員：今村 みゆき
委員：近藤 郁生	委員：横井 ひろみ	委員：野々山 道枝
委員：宮本 啓子	委員：中山 由香里	委員：太田 満
委員：伊藤 啓三		

2 出席委員は、次のとおりである。

委員：坪田 孝子	委員：三浦 史博	委員：市野 光信
委員：雨森 唯行	委員：堀田 陽一	委員：森 ともみ
委員：西川 元	委員：今村 みゆき	委員：近藤 郁生
委員：横井 ひろみ	委員：宮本 啓子	委員：太田 満
委員：伊藤 啓三		

3 欠席委員は、次のとおりである。

委員：比嘉 司      委員：野々山 道枝      委員：中山 由香里

4 会議事件説明のため出席を求めたものは次のとおりである

教育部長：津田 潔      学校教育課長：下廣 信秀

5 本会の事務に従事した者は次のとおりである

学校給食センター所長：石川 広

栄養調理場担当係長：有川 尚子      中央調理場事務：和藤 由美

栄養士：深尾 直美      山田 武      角野 純子

6 本会事件は、次のとおりである。

議題

- (1) 平成24年度事業報告について
- (2) 平成25年度事業実施について
- (3) その他 豆乳について

事務局：会議について豊明市立学校給食センター運営委員会の公開に関する傍聴者について、「本市ホームページ」に掲載したところ、傍聴希望者はありません。

豊明市立学校給食センター運営委員会規則第7条第2項に基づき、過半数以上のご出席をいただいておりますので、本会議は成立します。

開会宣言      午後3時30分第1回学校給食センター運営委員会の開会を宣言。

## 1. 教育長挨拶

(挨拶要旨)

中国にいる友人と食の話題になった。中国の友人は、毎日がサバイバルな食生活を送っているが選択肢がある。ここの子供たちに選択肢はないので、気を引き締めて食の安心・安全を提供して行かなくては、いけないと思いました。

## 2. 委員紹介

(新委員委嘱状交付)

代表して三浦 史博委員に教育長から交付されたのち、委員一人ずつ自己紹介  
小中学校長代表として坪田孝子様を会長を、小中学校 P T A 連絡協議会会長の三浦史博様を副会長に賛成多数により任命

## 3. 会長挨拶

(挨拶要旨)

学校は、今食育に一生懸命取り組んでいます。栄養教諭・栄養職員に来ていただき子供達に直接、お話をいただいて関心が非常に高まっています。豊明は、いろいろな工夫をしてくださり他地区から来た先生方や他校から来た子供達は、「おいしい、おいしい」と毎日喜んでいきます。教育長の話にもあったように子供達に安心・安全な食育を提供していただいています。

## 4. 議事

(会長より議事進行)

議題(1)平成24年度事業報告について

- 1) 事務局より資料「平成24年度事業報告」により説明
- 2) 栄養指導実施報告及び安全衛生に関する取組食育指導の説明

議題(2)平成25年度事業実施について

事務局より資料「豊明の学校給食」により説明

- 1) 給食センターの概要
- 2) 平成25年度学校給食の基本方針
- 3) 平成25年度学校給食実施計画・事業計画

議題(1)(2)について

委員より 小学校と中学校と別メニューになっていますが、この様になった理由を教えてください。

資料2のP18の2の理由の記入がなかったので、教えてください。

事務局より 調理能力には、限界があります。1台のフライヤーで揚げる揚げ物の数、時間も限られています。また、学校給食の場合、出来あがってから2時間以内に給食という指導がありますので、逆算しますと調理できる能力、同じコロッケを揚げる事が出来る個数が小学校、中学校に提供できる数を下回ってしまう為、と回答。

2の理由ですが、今年度は、給食のより一層の充実を目指し、保護者負担(小学校は1食225円、中学校は1食255円)に1食あたり5%を公費で加算することになりました

た。おもに安全な給食や地産地消、行事食に使います、と回答。

全員異議なしにて承認。

#### 議題（３）その他について

事務局より新規事業「牛乳アレルギー対応食提供事業の実施」により説明

- １） 牛乳アレルギー対応食の対象者
- ２） 豆乳の費用
- ３） 導入の時期

委員より 施設の改修等でアレルギーの代替食・除去食を作っているセンターもありますが、今後アレルギーの児童・生徒に対する対応をどのように考えているか

事務局より 現在の施設では、除去食を作ることは、出来ません。除去食を作ることになると、専用の施設、専従のスタッフを整えてやらなければ、事故がおきてしまうので、現在の施設では、除去食を作ることは、できない。代替食ですが、こちらも現在作ることが出来ません。今後、実施計画等で給食センターをどのような方向に持っていくかを行政側とも考えています。アレルギーの関係を複合的に考えていく方向です、と回答。

委員より 施設の改修等を検討する中で、すべてのアレルギーに対応する食事を提供すべきか、疑問を感じる。現場も混乱が生じるので、それも含めた施設の改修等を検討して欲しい。

#### 4.その他

瀬戸保健所環境食品安全課長

新聞等でにぎわせている風疹のグラフです。2年前に比べて風疹患者の発生状況は、違います。2013年は、いつもの年に比べ上り方が一段と高い。風疹を見た先生は、届出を行う義務がありますので今週に入り瀬戸保健所管内の報告は、3件あったので、愛知県下だと相当な数になっているだろうと思います。風疹の潜伏期間は、3週間頃です。3週間前は、ちょうどゴールデンウィークがあり、赤ちゃんに感染してしまうと、先天性風疹症候群になってしまう。妊婦さんに感染してしまうと先天性風疹症候群になる確率は、高くなってしまいます。白内障、先天性心疾患、難聴の障害になってしまう。昨年度までに瀬戸保健所管内で、1件の報告があった。愛知県内では、2件の届出がありました。風疹ワクチンの接種を県が助成しますので、この機会にぜひ対象者には、接種してください。

閉会

16時15分閉会宣言

以上